

令和4年度 職員研修発表会

芦別慈恵園の明るい未来のために
自分ができること



社会福祉法人芦別慈恵園

特別養護老人ホーム芦別慈恵園

まちづくり事業部 まちづくり経営係 業務係長 鈴木 章夫

慈恵園入社後の主な経歴



鈴木章夫（すずき あきお） 出身：札幌市

◆昭和54年7月3日生まれ、43歳

◆平成14年10月1日 入社

◆勤続20年

◆平成14年10月～ケアワーカー（西棟・ひまわり棟兼務）、23歳

◆平成17年 8月～もみじの家ケアリーダー（相談員兼務）、26歳

◆平成19年 9月～かざぐるま生活相談員、28歳

◆平成21年 4月～主任生活相談員、29歳

◆平成22年 4月～業務主任（事務員）、30歳

◆平成28年 4月～業務係長（事務員）、36歳

業務係長って何してるんですか？

法人運営の全体に携わる

①財務（会計）

- ◆収入と支出の管理（出納職員）

②レセプト

- ◆介護報酬の請求、利用料（自己負担）請求

③人事

- ◆採用、求人募集、労働契約

令和4年度の芦別慈恵園は…

【第六期改修工事】

本体特養の個室化改修工事

◆定員72名⇒**63名**へ変更

改めて生活環境（設え）の
大切さを学ぶ

- ◆お客様の明るい表情
- ◆職員のモチベーションUP



令和4年度の芦別慈恵園は…

面会室が完成！！

面会予約を担当して…

- ◆短時間の窓越し面会だけど
病院だと会う事もできない



電話で元気と聞いていても心配

自分の目で元気だと確認できて安心した

令和4年度の芦別慈恵園は…

コロナウイルスによる**クラスターが発生**

- ◆本体10/28～11/22（26日間）
⇒愛Grを除き感染者が出てしまう
- ◆かざぐるま12/8～12/26（19日間）



コロナが慈恵園に与えた経営への影響

主な減収、支出増について

	10月	11月	12月	1月	合計
従来型		130万			130万
ユニット型		90万			90万
ショート		230万	230万		460万
バック	20万	300万			320万
もみじ	20万	200万			220万
時間外手当		100万			100万
危険手当				330万	330万
衛生用品				300万	300万

トータル ー 1,950万

地域活動も中止となる



市民の元気まで失う事に…

それでも支払いはやってくる

サービスを休止して減収になっても

・職員への給料 ⇒ 2,400万/月

・業者への支払い ⇒ 1,100万/月

・その他（光熱費等）

◆預金通帳の残高が足りなく日々
◆今年も、改修工事の費用も支払わないといけない

でも融資の日が決まらない

悩ましい一年でした…

クラスターは大変だったけど

やっぱり慈恵園は**チームワークが良い**

◆ユニット関係なくフォローに入れる

◆ゆうあいの郷（他施設）への応援

リーダーの成長を実感

⇒東日本大震災（2011.3.11）ボランティア経験

苦勞した経験に

無駄なことはない！！

収入を維持するためには稼働率を達成

空床ベッドを減らす

- ◆とにかく営業（待機者を増やす）

- ◆特例入居の考え方

（在宅で困っている要介護1、2の方の入居を検討）

⇒**芦別市と3/14協議**

介護保険課長、係長から了承得る

入院しない身体づくり

- ◆食事、水分、排泄、運動

収入を維持するために取り組むこと

空床1ベッドあたり

従来型：－11,800円

ユニット型：－13,800円

かざぐるま：－14,000円

入院日数が半分だと…＋600万円

令和4年度
3/15現在

433

439

128

1,000

収入を維持するためには…



職員の心と身体が
元気でないと取り組めない！

職員が元気に働ける環境へ



笑顔の写真が本当に少ない...

安心して勤務ができるように

国のコロナ対策が緩和（3/13～マスクは個人の判断に）

- ◆趣味活動（試合の参加、演奏会、ライブ出演など）
- ◆旅行
- ◆コンサート
- ◆スポーツ観戦

メリハリつけて仕事する

- ◆**新職員休憩室の活用**



※事前に予定はお知らせください

※福利厚生で抗原キットを用意します（無料）

仕事の中にも楽しみを！

①親睦会の再開

- ・ 7/9（土）大掃除後のビアパーティー予定

②旅行会の再開

- ・ 日帰旅行で検討予定（昼食⇒温泉⇒夕食⇒帰宅）

③サークル活動再開

- ・ ミニバレー、ソフトボール



ICTの導入と活用

審査委員長の講評より

「ICT、ロボットは冷たいという印象がありますが、お客様の不満不安をくみとる温かいもの。そして職員の育成やお客様の満足になる。効率を求めるのではなく、お客様を思った使い方をしていました。」

職員同士お互い気に掛ける、声を掛ける

安心感を感じる使い方ができるように

ICTの導入と活用

令和5年3月14日
北海道新聞 掲載

離れているご家族は**心配**する

普段からコミュニケーションを
図らないと、不信感を抱かれる

⇒正しく**情報共有**できているか

管内感染者、ゼロ

道が公表した新型コロナウイルスの新規感染者で、空知管内の医療機関で12日は1人が確認され、13日は0人だった。12日は前週日

曜より3人少なく、13日の感染者ゼロは前週月曜に続いて今月2度目。両日もクラスター（感染者集団）の新規発生や終息の発表はなかった。

特養元入所者が北竜町提訴

歩行中に転倒「寝たきりに」

【北竜】町立特別養護老人ホームに入所していた女性が、介護員の介添えを受けながら歩行中に転倒し、

その結果寝たきりになったとして、女性と成年後見人の五女がホームを運営する町を相手取り、損害賠償と

して約7500万円を求め、20年9月14日、要介護5で当時83歳の女性は朝食後に転倒。痛みを訴えたが、職員は医療機関での受診を

訴状などによると、2020年9月14日、要介護5で当時83歳の女性は朝食後に転倒。痛みを訴えたが、職員は医療機関での受診を

させず、歩行困難になった女性に歩行訓練をさせるなどした。女性は翌10月、病院で右大腿骨付け根部分の骨折と診断された。

女性は特養ホーム入所中に嚥下障害となるなどしたため、同月末にホームを退所。胃に直接栄養を入れる胃ろうをつけ、現在は自宅で寝たきりとなり五女が介護している。

原告側は「特養ホームの介護員には転倒を防止すべき義務があり、町と町長には使用者責任がある」と主張している。

提訴について佐野豊町長は「訴状を見ていないのでコメントは差し控える」と話している。

ICTの導入と活用

ライフリズムナビ

◆見守りセンサー、モニター

本体特養でも導入したい！！

◆センサー⇒訪室回数減少、
職員の**負担軽減**

◆モニター⇒職員の**安心、安全**

根拠があれば
ご家族は安心！
職員も安全！！

安心して働く環境 = 職員を守る

慈恵園の明るい未来に向かって

慈恵園の原点

和 顔 愛 語



一人ひとりの明るい表情が
チームワークを高め
人材が集い離職予防に繋がる

慈恵園の明るい未来に向かって

芦別慈恵園は
職員みなで運営しています

新年度も
よろしくお願ひします！

